
数理News 2003-1

東京大学大学院数理科学研究科

5月15日発行

編集: 広報委員会

数理ニュースへの投稿先: surinews@kyokan.ms.u-tokyo.ac.jp

数理ニュースホームページ: <http://kyokan.ms.u-tokyo.ac.jp/~surinews>

目次

- [法人化](#)
 - [人事ニュース](#)
 - [新任紹介](#)
 - [数理トピックス](#)
 - [編集後記](#)
-

法人化

研究科長 薩摩順吉

研究科長に就任して一年が経過しました。ちょうど折り返し点です。歳をとると時間の経過は早くなります。あっという間の一年でした。この間の大きな仕事は何といても法人化に関するものです。中期目標・中期計画の作成、法人化準備委員会の仕事等。21世紀COE応募も法人化の流れの一つでしょう。

法人化とは何なのか。昨年国立大学などの独立行政法人化に関する調査検討会議が提出した文書によりますと、基本的考え方は以下の通りです。「行政機能のアウトソーシングや、運営の効率性の向上といったいわば行政改革の視点を超えて、教育研究の高度化、個性豊かな大学づくり、大学運営の活性化など、従来からの大学改革の流れを促進し、活力に富み、国際競争力のある大学づくりの一環として検討することが前提となる。そしてそのために、予算、組織、人事など様々な面での規制を緩和し、大学の裁量を拡大する。また、第三者評価に基づく重点投資システムの導入など、適切な、競争原理の導入や効率的運営を図りつ

つ、高等教育や科学技術・学術研究に対する公的支援を拡充することが不可欠である。」

2月末に閣議決定された国立大学法人法案はこうした内容を踏まえて提出されたものです。しかし時間が経過するにつれて、いくつかの問題点も浮き彫りになってきています。まず、学長及び理事で構成される役員会に権限が集中すること。改革が良い方向に進んでいるときはメリットになり得ますが、あわせて独断専決体制の恐れも十分にあります。また、6年間の中期目標・中期計画及びそれらに対する評価が大学運営の柱となりますが、数理科学のような基礎学問にはそぐわない制度です。最近開催された国会の文部科学委員会の意見陳述でも、生命科学の研究者が「評価漬けの研究からは何も生まれない。多くの日本のノーベル賞受賞者の研究がそれを始めたときには誰にも認められず、長期間にわたる試行錯誤の中で、世界に冠たる研究成果が生まれた」と述べ、国立大学法人法案はこうした研究を育む大学における学問の自由をつぶすものだと指摘しています。さらに、文部科学大臣が「中期目標」を「定め」という規定は、学問研究の「目標」を先験的に決定することなど元来不可能であるにも関わらずそれを行おうとしており、大学間の自由な競争という当初の目論見とは真っ向から対立する制度だという意見も出されています。大学教職員の身分も問題です。法人化によって教職員は非公務員化され、教育公務員特例法は適用されないことになるということです。その結果、これまでより身分の扱いが軽くなるようです。

どうも暗い話になりました。私たちが担っている教育というものは、もともときわめて効率の悪いものです。結果は何十年たたないと分かりません。数学のような基礎研究も然りです。生命科学研究者のいっているように、長期間にわたる努力の末成果が出るもので、ときには百年のオーダーで評価される類のものです。6年という期間はあまりにも短すぎます。先行法人の例のように、中期目標では例えば毎年1%の経費削減といった運営の効率化のみが要求される可能性もあります。法人化によってもともと自律的な大学という組織が疲弊し、活力がなくなり、国際競争力を失うことにならないよう祈るばかりです。

[目次へ](#)

人事ニュース

(※平成15年2月10日以降の異動一覧です。)

教官

☆転入			
異動年月日	氏名	新官職	旧官職等
15.4.1	Ralph WILLOX	大学院数理科学研究科 助教授	パリ第7大学 招へい助教授
☆転出			
異動年月	氏名		

日		新官職	旧官職等
15.4.1	山田 道夫	京都大学数理解析研究所 教授	大学院数理科学研究科 教授
15.4.1	大槻 知忠	京都大学数理解析研究所 助教授	大学院数理科学研究科 助教授
15.4.1	高橋 明彦	東京大学大学院経済学研究科 助教授	大学院数理科学研究科 助教授

職員

☆転入			
異動年月日	氏名	新官職	旧官職等
15.4.1	大木 幸夫	教養学部等総務課課長補佐	柏地区庶務課庶務主任
15.4.1	矢富 幸枝	教養学部等総務課数理科学総務掛長	宇宙科学研究所庶務課法規・出版係長
15.4.1	米山 永子	教養学部等教務課大学院第二掛長	文学部・人文社会系研究科教務掛主任
15.4.1	平井 豊子	教養学部等図書課数理科学図書掛長	宇宙科学研究所庶務課情報資料係長
15.4.1	富岡 幸恵	教養学部等総務課数理科学総務掛	

☆転出			
異動年月日	氏名	新官職	旧官職等
15.3.31	高木 郁子	退職	教養学部等総務課数理科学総務掛
15.4.1	荻原 隆治	医学部・医学系研究科事務長補佐	教養学部等総務課課長補佐
15.4.1	柳澤 賢次	理学系研究科等生物科学科事務主任	教養学部等総務課数理科学総務掛長
15.4.1	堀越 文夫	総務部学務課学務掛長	教養学部等教務課大学院第二掛長
15.4.1	布施 百合子	附属図書館情報サービス課情報サービス主任	教養学部等図書課数理科学図書掛長

新任紹介（教官）



Ralph Willox 助教授

2003年4月1日に就任いたしました。これまで既に6年こちらで研究をさせていただきましたが、今まで、皆様と会う機会はありませんでした。これからはよろしくお願いたします。

私はベルギーの北にあるフランダースという地域を代表する町「ゲント」生まれで、ブリュッセル育ちです。ブリュッセル自由大学を卒業してから（ブリュッセルには「自由大学」は二つありますが、私の母校はオランダ語側の大学です。）日本のJSPSに相当するベルギー科学財団の研究者として数理物理という分野で研究を始めました。最初はソリトン方程式とともにカオスの力学系（特にシナイビリヤード）を研究しましたが、博士号を取得してベルギー科学財団のポストドックを得てから研究の焦点が次第に無限自由度可積分系の方に移りました。

1996年に初めて来日して、客員研究者として一年数理科学研究科で研究しました。そして、この素晴らしい研究環境にはまってしまって、1998年から今まで、ずっとこちらで研究させていただきました。（まずJSPSの外国人特別研究者として、2000年から昨年の秋まで改めてベルギー科学財団のポストドックで、そして岡本和夫先生の研究支援員として。）ただし、着任直前一ヶ月はパリ第7大学を訪問していました。

最近の研究トピックは古典可積分系に関する基礎的な問題（佐藤理論におけるtau函数に対する初期値問題やtau functionを生成するリー環のレベルで、そのtau functionに付随する2+1次元可積分系から、パンルヴェプロパティを持つ常微分方程式までの簡約を記述すること）ですが、それだけではなく、「ソリトン方程式のフェノメノロジー」、つまり、ソリトンの相互作用を考察することにも深い興味を持っています。この分野に関心のある方と細かい議論ができるのは楽しいし、新しいインスピレーションも湧いたりしますので、積極的に多くの方とお話ししたいと思っています。

新任紹介（事務室）



大木 幸夫 総務課長補佐

4月1日付けで柏地区事務部庶務課から着任してきました大木と申します。平成8年3月までの2年間ですが駒場キャンパスに勤務させていただいたことがあり、当時を懐かしく思い出しながら通勤させていただいております。

当時の矢内原公園は、鬱蒼たる林という感じでしたが、見違えるように整備され学生等の憩いの場として利用されるようになっていたことに、ちょっと驚きました。

外観は名前と違ってか細い身体ですが、先生方の教育・研究に少しでもお力添えになるよ

う、痣ができない程度に細身に鞭を打っていきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。



矢富 幸枝 総務掛長

平成15年4月1日付けで、宇宙科学研究所から、数理科学総務掛に着任いたしました矢富（やどみ）です。

宇宙科学研究所の前は、生産技術研究所に長〜々くお世話になっておりました。早く先生方のお名前とお顔を覚えて、教授会の出席がスムーズにとれるようにしたいと思います。

いろいろ行き届かないところがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしく願いいたします。



米山 永子 大学院第二掛長

4月1日付けで文学部教務掛から着任いたしました。

久しぶりに大学院関係の仕事に携わることになり、自分の不勉強さを痛感していますが、また新たな気持ちでがんばります。

趣味は野球観戦と馬を見ることです。

不慣れなところもありますが、どうぞよろしく願いいたします。



平井 豊子 図書掛長

4月1日付で、宇宙科学研究所図書室より数理研究科図書室に転任してまいりました。駒場キャンパスは3年ぶりになります。その間、教養学部図書館は駒場図書館へ変わり、梅林や矢内原公園も綺麗になりました。そして、変化は風景よりも内実のほうが大きく、3次元的には同じ場所のはずなのに、4次元的には全く別の場所であるかのように感じています。過去のイメージは消して、新しい気持ちで、皆様のお役に立てるよう努めてゆきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。



富岡 幸恵 事務補佐員

4月1日付けで、数理科学研究科総務掛に採用されました、富岡幸恵と申します。2階の主任室Iで、主にジャーナルの編集を担当させて頂くことになりました。

皆様に出会えたことに感謝をし、一日も早くお役に立てるよう努力したいと思います。ご指導のほど、よろしく願い致します。

[目次へ](#)

数理トピックス

●平成15年3月27日（木）送別会が行なわれました。



思い出話などに盛り上がり、最後は何回かにわけて集合写真

●平成15年3月28日（金）

修士課程・博士課程学位記伝達式が数理科学研究科大講義室で行なわれました。



●平成15年4月4日（金）

数理科学研究科としては初めての入学式・進学式が大講義室で行なわれ、薩摩研究科長、野口専攻主任、名誉教授の藤田宏先生より祝辞が述べられた。



●平成15年4月25日（金）

コモンルームにて春の懇親会が行なわれました。当日は、教官、100名を超える学生、職員で賑わいました。



皆さんお料理は、食べることができましたか？

[目次へ](#)

編集後記

数理科学研究科入学式において名誉教授の藤田宏先生からご祝辞を賜りました。原稿をお寄せ下さった藤田先生に心から感謝申し上げます。新任の Willox 助教授、事務の方々のご挨拶も掲載いたしました。(広報委員長・舟木直久)

広報委員会
委員 舟木 直久
数理ニュース編集局 佐藤 真理子

[目次へ](#)
